

ふれあい記録

実施日：平成 29 年 2 月 16 日（木）

当番者名 堀井克子・神谷順子

コース名：独自コース 45 番「早春の曾我丘陵から梅林へ」

(通し番号 第 127 回)

天 候： 晴れ

参加者名：相川 勲、市瀬 英雄、岩崎 宗郷、江口 正彦、小俣 悦男、神谷 順子、功力 満紀子、熊谷 信雄、柴崎 幸治、新海 昭、西村 寿文、根本 邦子、細矢 清志、堀井 克子、宮原 さち子、宮原 宏至、山奥 利光、山腰 策次郎、吉田 千代。

<ビジター>林 洋、船橋 エイ子、笠井 欣三、香河 喜美代、鶴岡 重典。

計 24 名 (内、男性 16 名 女性 8 名) (五十音順)

交通(時刻)： JR 国府津駅改札口 9:00 時 集合

(行き) 横浜駅発 8:02 ⇒ 戸塚駅 8:12 ⇒ 大船駅 8:18 ⇒ 国府津駅 8:48 着

(帰り) 下曾我駅 15:06 ⇒ 15:11 国府津駅 15:15 ⇒ 大船駅 15:45 (解散)

コースタイム(時刻)：国府津駅 8:55 発 == 9:05 菅原神社(挨拶・体操) == 10:00 西山農道 == 10:40 上町隧道 == 11:00 見晴台 == 11:35 六本松跡(昼食) 12:00 = 12:10 伝曾我祐信宝篋印塔 == 12:50 城前寺 == 13:25 二宮尊徳遺髪塚と「小袖乞い」伝承地 == 13:50 別所梅林(ティータイム) == 14:40 下曾我駅。

みどころ：①小田原市の北東に位置する曾我丘陵はすこぶる展望が良い、標高 300m に過ぎないが、南は相模湾、西は小田原の平野部そして箱根や富士山の眺めが素晴らしい。ミカン園をぬって歩く尾根道は富士山と黄金色に光るミカンの実を見ながら楽しい。

②仇討ちで有名な曾我物語、曾我兄弟の父 河津三郎祐泰死後、母満江御前は再婚し兄弟は曾我の地に移り住んだ。曾我兄弟ゆかりの地、城前寺・「小袖乞い」伝承地を訪ねる。

③曾我梅林は曾我丘陵の西側に広がる中河原・原・別所の 3 梅林の総称で、約 3 万 5 千本の梅の木が植えられている。梅まつりが開催されていて即売所などが有り賑わっていた。

自然観察：ミカンの賑わいは姿を消し整枝された静かな樹木の彼方に真っ白な富士山がカメラアイを満足させてくれた。

温州ミカンは収穫時期を終えたが、大型のミカンが青空に映えていた、そして珍しいキウイ棚。尾根道のひだまりには、諸葛菜・ホトケノザ・ムスカリ、イヌノフグリ、菜の花、ガザニア等。一足早い枝垂れ桜、そして梅の花は山間部では 5 分咲き梅林は 7～8 分咲きでした。

特記事項：澄んだ空気の晴天下、真っ白な富士山の眺望は素晴らしかった。

曾我兄弟の菩提寺「城前寺」は下見の時は入れてもらえなかったが、町上げて梅まつりのこの時期 寺内に入れ、本堂裏手の曾我兄弟と義父 祐信、母 満江御前、の墓参と見学ができた。

コース後半、予定していた寺社の見学をカットしたが、ゆっくり梅林散策とティータイムを楽しむことができた。

今回の「ふれあいの道歩こう会」参加者 24 名そして大船、磯丸水産での反省会は 21 名と大勢参加していただきゆっくり歩いて皆様の親睦もはかれたと思う。ご協力を感謝いたします。

「しだれ梅一本ながら寺に入り」克子。